

根深ネギのシロイチモジヨトウの薬剤感受性実態

【研究のポイント】

シロイチモジヨトウは根深ネギ栽培において重要な防除対象害虫ですが、生産現場で薬剤の感受性低下が懸念されたため、薬剤感受性低下の実態および有効な薬剤を明らかにしました。



根深ネギのシロイチモジヨトウによる被害

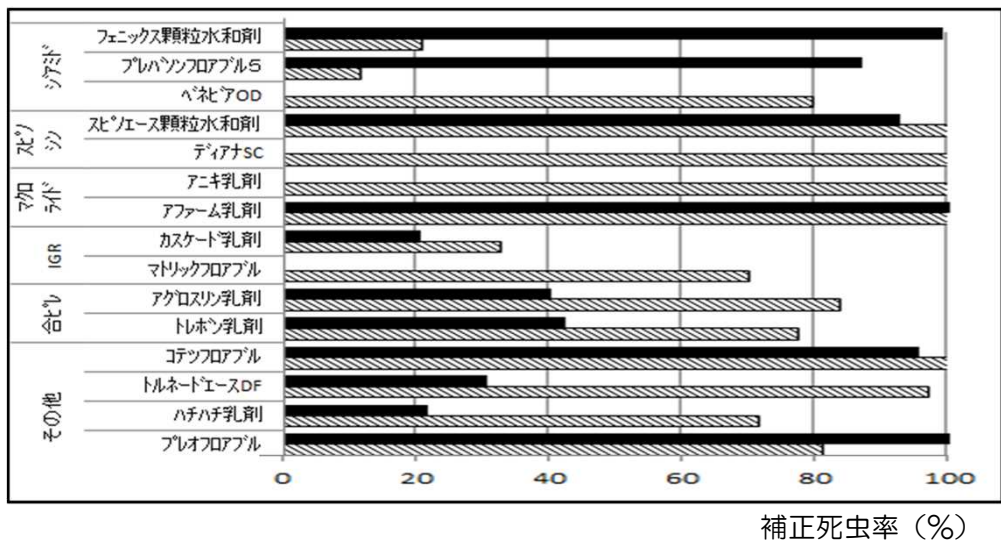


シロイチモジヨトウ幼虫

成果のポイント

- ①薬剤感受性検定の実施（豊後高田市呉崎で採集した個体群）
 主要防除剤として使用されてきたフェニックス顆粒水和剤およびプレバソフロアブル5やIGR系薬剤の感受性低下が確認されました。
- ②有効薬剤の選定
 現地で使用されている薬剤のうち、スピノエース顆粒水和剤、ディアナSC、アニキ乳剤、アフーム乳剤、コテツフロアブル、トルネードエースDF、プレオフロアブルは、有効であることが明らかになりました。

【研究の成果】



薬剤検定結果

*黒塗りつぶしは2006年検定結果、斜線は2017年検定結果
 (グラフが表示されていない剤は未検定)

【生産者の声】

シロイチモジヨトウ防除の薬剤選定にあたっては薬剤のローテーションを考えると非常に参考になっています。今年、フェロモン設置地区の検定を行うということで、フェロモンを推進していく材料となることが期待されます。

(豊後高田白葱生産部会会長 井上 智彦氏)



【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 病害虫対策チーム
 TEL : 0974-28-2078
 住所：大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8